



みんなちがって、みんないい

校長 吉見 一弥

日増しに秋も深まり、朝夕は肌寒さを感じるようになってきました。

これからしばらくは大きな行事もなく、また、学習に集中しやすい気候でもあります。学校では、現在、「文武両道」の「文(学習面)」に重点をおいて、日々の授業の充実に取り組んでいます。

10月のある日のことです。ひまわり学級の女の子二人(ひまわり娘)が、いたずらっぽい笑みを浮かべて校長室へやって来ました。何やらサプライズがありそうです。

「校長先生、詩の暗唱をするので聞いてくださいますか。」

「本当。ぜひ聞かせてほしいですね。」

ひまわり娘たちは、一人ずつ暗唱を始めました。途中でつかえることなく、とても上手に暗唱できました。きっと、何度も何度も繰り返し練習したのでしょう。拍手を送ると、二人とも照れくさそうにしながら、はじけるような笑顔を見せてくれました。

二人が暗唱してくれたのは、私が大好きな「金子みすゞさん」の詩でした。国語で学習する詩ですので、ご存じの方も多と思います。

わたしと 小鳥と すずと
金子みすゞ

わたしが両手をひろげても、お空はちっともとべないが、とべる小鳥はわたしのよう、地面をはやくは走れない。

わたしがからだをゆすっても、きれいな音はでないけど、あの鳴るすずはわたしのよう、たくさんうたは知らないよ。



すずと、小鳥と、それからわたし、みんなちがって、みんないい。



特に、最後の「みんなちがって、みんないい」が好きな一節です。本校の「特別支援教育通信」のタイトルも、これに由来しています。(裏面参照)

人は、それぞれ、顔つきも、体つきも、性格も、育ち方も、そして、得意なことや苦手なことも違います。違うからこそ、誰もがかけがえのない大切な存在。それが、「みんなちがって、みんないい」という意味だと思えます。

本校の172人の子どもたちも、一人一人素晴らしい個性があります。そして、それぞれ得意なことや苦手なことを抱えながら、「もっとできるようになりたい」、「もっと分かってほしい」、「もっと成長したい」という願いをもって毎日の学習を頑張っています。

そんな子どもたちの思いや願いを大切にしながら、特別支援教育の視点に立った「どの子にも分かる、楽しい授業づくり」に、今後も取り組んでまいります。

自分の命を自分で守るために

～「地震・津波」避難訓練実施～



本校は、平成24年度から防災教育のモデル校指定を受け、年間を通じた避難訓練を実施しています。特に地震と津波に関しては、海拔4.6mという立地にある本校にとって、一人も見逃すことなく、いかに速く安全な高台に避難させるかが課題です。

そこで、今年度も「地震・津波」に特化し、学期1回ずつ年3回の避難訓練を計画していたところ、コロナウイルスにより、予期せぬ臨時休業等があったことから、10月21日(水)に行った今回が、今年度初めての避難訓練となりました。各学級で事前指導を行った後、校内放送で「アラートの緊急地震速報を流しました。これまでの経験から、子どもたちは、すぐに身の安全を守る「基本行動」をとりました。次に、地震の揺れが収まったという放送を聞き、担任の指示で、避難をはじめました。

中島坂をはさんで左側の西山様宅前芝地が一次避難場所になっています。距離では3～400m程度なのですが、中島坂の傾斜がきついため、走ると息が切れるほどです。それでも、避難した子ども全員が、無事に避難場所まで行くことができました。



南海トラフ地震で津波が発生した場合の海岸への到達時間は、20分以上とされています。

今回、避難に要した時間は11分で、「かなり速い。」と思いますが、昨年行った際は、約9分で避難完了しており、振り返ると、少ないながらもおしゃべりもあって「自分の命を守るための行動」を全員が取れたとは言いきれない面が見られました。



今回は訓練でしたが、津波を含め、地震は、いつ、どんな状況で起こるか分かりません。だからこそ「命を守る大切な訓練」であることを子ども一人一人に自覚させながら、3月2日にある2回目の地震・津波避難訓練に取り組んでまいります。

ZOOMによる全校朝会・表彰式

コロナ禍のため、始業式や終業式、集会活動など、全児童で集まる機会がなかなか持てず、定期的な全校朝会も、これまでは放送室から音声を通して作成したスライドをテレビに映して、各学級で対応するという方法を取っていました。スライドは、学校長がクイズを入れ、興味を引くように作成していましたので、子どもたちは、集中して見たり聞いたりする姿がありました。



このようなこれまでの方法で一定の効果はありましたが、ZOOMというWeb会議ツールを使うとより効果的に会が行えるということから、10月9日、本校でも初めてZOOMを使って全校朝会・表彰式を行いました。最初、音声が流れなかったことで、少し慌てた場面はありましたが、すぐに復旧でき、PCのカメラで映している画像や音声も、リアルタイムで各学級のテレビに映し出されました。学校長の話もスライドと動画で出されたり表彰式では、賞状をもらう姿も映ったりしたので、いつも以上に集中して全校朝会に参加できた子どもたちでした。



今年も豊作 ～赤米の稲刈り～

10月22日(木)5年生が赤米の稲刈りをしました。予定では5・6校時に行く予定でしたが、午後からあいにく雨が降るとの予報だったことから、1・2校時に早めて実施しました。



米の重さでずっしりと垂れてくる稲を1束ずつ鎌を使って刈り取っていました。



5校時は、刈った稲をピロティに運び、干す作業もしました。この後、11月5日(木)5・6校時に5年生みんなで脱穀を行う予定です。

11月の目標



- 生活目標 進んで本を読もう
- 保健目標 正しい姿勢で生活しよう
- 安全目標 登下校の安全に気を付けよう

～ 11月行事予定 ～

2日(月)～6日(金)		地域が育む「鹿児島の教育」県民週間
3日(火)	国民の祝日：文化の日	
4日(水)	お薦め授業参観(道徳一斉授業) 学校運営協議会 心の教育の日	
5日(木)	がんがらちゃん号巡回日	
7日(土)	キラリ輝く「しぶしっ子」育成講演会	
10日(木)	三校PTA(有明小)	
11日(水)	学力向上家庭学習強調週間・ノーメディア取組(～19日)	
14日(土)	土曜授業日 校内持久走大会 PTA親子読書の日	
18日(水)	芸術鑑賞劇場(劇団クラルテ公演)	
19日(木)	PTA三役会	
23日(月)	国民の祝日：勤労感謝の日	
24日(火)～27日(金)	教育相談週間	
26日(木)	がんがらちゃん号巡回日 PTA理事会	
30日(月)～12月4日(金)	人権週間	

～地域が育む「鹿児島の教育」県民週間について～
例年、学校教育を知っていただく機会として11月初旬に保護者、地域など多くの皆様に学校開放を行ってありますが、今年度はコロナウイルス蔓延防止のために、学校運営協議会委員及び保護者に限定して実施することになりました。楽しみにしていた皆様には申し訳ありませんが、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

